



水性 カベ紙、しっくい、木部などの屋内壁の下塗りに

たばこの木の ヤニ・アクどめシーラー

白

- たばこのヤニ、木のアク、雨ジミ、油ジミ等のしみ出しを防ぐ
- たばこのヤニでよごれたカベ紙の下塗りに最適

カチオン系

2L

注意書をよく読んでから
使用して下さい。

(社)日本塗料工業会登録

登録番号	A02110
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

標準塗り面積(1回塗り)

カベ紙への塗装	12~28㎡
砂壁・せまい壁への塗装	6~8㎡
※吸い込み止め処理した場合: 8~14㎡	
スレート板・合板への塗装	10~20㎡

乾燥時間

夏期/1~2時間
冬期/3~4時間

塗装用具は
水
で洗って下さい。

うすめずにそのまま塗って下さい。



水性 カベ紙、しっくい、木部などの
屋内壁の下塗りに

たばこの木の ヤニ・アクどめシーラー

白

2L

- たばこのヤニ、木のアク、雨ジミ、油ジミ等のしみ出しを防ぐ
- たばこのヤニでよごれたカベ紙の下塗りに最適

カチオン系

商品名	水性ヤニ・アクどめシーラー	種類	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(アクリル)、顔料、水		
特長	●カチオン系の特殊な水性シーラーで、水性塗料を上塗りする際のたばこのヤニ、油ジミ、雨ジミ、木のアク等のしみ出しを防止します。 ●たばこのヤニ等で汚れたカベ紙の上にも塗れる下塗り剤です。 ●旧塗膜および上塗り塗料への付着性に優れています。 ●砂壁やせまい壁に塗装する場合、下地押さえの効果がります。 ●水性のため安全、無公害で作業が容易です。		

用途

屋内のたばこのヤニやシミ、アクの出た面(カベ紙、コンクリート、モルタル、スレート、木部、砂壁、せまい壁、旧塗膜面)の下塗り剤
絶えず水がかかったり水につかる場所や、いつも湿っている場所には適しません。手で触れてポロポロと簡単に落ちたり、シート状にはかたかたしているような砂壁や繊維壁などには適しません。また布カベ紙、オレフィン系カベ紙にも適しません。松ヤニなどの樹脂のヤニ止めには効果がありません。

塗装方法

- はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に除去します。
●塗る面のゴミや汚れ、ホコリなどを取り、ひどい油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●釘等の金属面にはあらかじめアサヒペン「サビドメ塗料」を塗っておいて下さい。
●砂壁やせまい壁など吸い込みの多い箇所の場合、水性カベ塗料用下塗り剤等を下塗りして吸い込み止め処理するとヤニ・アクどめシーラーの使用量が少なくて済みます。
- 塗料がついては困る場所は、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。
- フタを閉めたまま、容器ごとよく振って、塗料を均一に混ぜ、ハケやローラー・バケが使用できる容器に必要量を移しかえます。
- コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はローラー・バケ・コテバケ・オートローラーなどを使うと速く、楽に塗ることが出来ます。
●残った塗料は、固くフタをして保管します。一旦移し替えた塗料は、腐敗などの原因になりますので、元の容器に戻さないで下さい。
- マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

株式会社 **アサヒペン** 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

取扱上の注意

- 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。
- 他の塗料とは混ぜられませんので、絶対に混ぜないで下さい。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- 汚れの激しい場合には2回塗りをして下さい。
- 完全に乾燥した後に上塗りをして下さい。乾燥が不十分な場合、シミが残る可能性があります。
- 塗り重ねるときや上塗りするときは、夏期3時間以上、冬期は6時間以上(吸い込みの大きい場合は1日以上)乾かしてから塗って下さい。
- 本品は下地処理剤です。必ず上塗り塗料を塗って下さい。上塗りには水性塗料をご使用下さい。
- 塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- やむをえず塗料を捨てるときは、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

保管上の注意

- 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- 残った塗料は、フタをし、直射日光や-5℃以下の場所を避けて保存して下さい。

救急処置

- 目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所や安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

キャップ:PP
内 栓:PE
容 器:PE

4 970925 505811